令和8年度いわて革新的科学技術活用・創出支援事業（シーズ育成ステージ）採択課題

医療安全を担う人材育成のためのシミュレーション教育システムの研究開発
― 着眼点を可視化する振り返りシステムの構築 ―

◎岩手県立大学看護学部・教授・三浦奈都子
〇株式会社イーアールアイ・プロジェクトマネージャー・大森康平
◎プロジェクトリーダー　〇サブリーダー

地域に 未来に 多様なアーチを
岩手県立大学
Iwate Prefectural University

■研究開発のねらい

人口減少・少子高齢化を背景に、医療分野では遠隔医療や医療DXの推進が求められており、地域医療の安全を支える高度な看護・医療人材育成の必要性は増大している。我々は、これまでシミュレーション教育に活用する**基準値から外れた危険なサインを提示できる血圧計などの教育用デバイス**を開発してきた。

本研究では、それらを改善するとともに、**学習者と指導者双方の着眼点を可視化するクラウド型ビデオデブリーフィングシステム**を開発する。実習や臨床現場で不足しがちな経験を補い、振り返りと学びの蓄積を可能にし、医療安全を担う高度人材を育成する一助とすることを目指す。

■研究開発の内容

①教育用デバイスのミラーリング機能追加とリアリティの改善

昨年度までに開発した教育用デバイスでは、PC用アプリでのデータ送受信について83～100%の成功率が得られている。本研究では、観察者役の学習者に数値を共有できるようミラーリング機能を追加し、表示部分を拡大する。また、外観をより実物に近づけるため、シートタイプデザインを検討する。

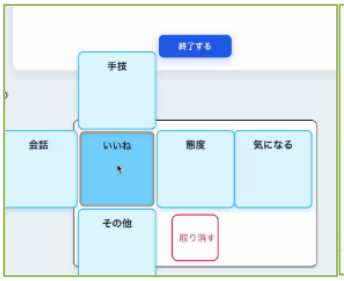
②クラウド型ビデオデブリーフィングシステムの実装

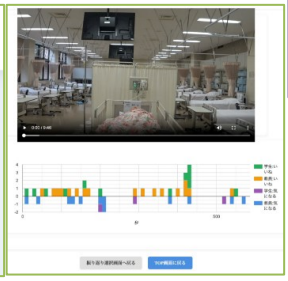
これまでに開発した着眼点を可視化する機能に、評価位置可視化、属性別分析、重要場面抽出などの機能を高度化し、遠隔教育、オンデマンド教育にも活用できるよう検討する。

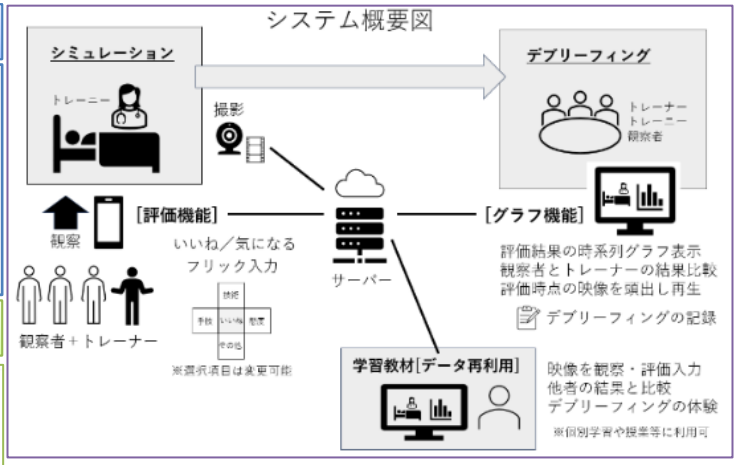
異常値を表示する教育用デバイス

・血圧計・体温計・パルスオキシメータのセット
・任意の数値、表示時間をワイヤレスで設定可能。
・複数デバイスを同時に設定可能。デバイス毎に異なる数値も設定できる。

クラウド型ビデオデブリーフィングシステム







・シミュレーションを観察し、気づいたこと(「いいね」「気になる」とその理由)をスマートフォンでフリック入力する。
・タイミング、属性、着眼点が録画データと同期されグラフで可視化される。
・クラウドに保存され、事前事後の教材としても活用できる。

【企業の皆様へ】医療系シミュレーション教育用デバイスの商品化、販路開拓にお力添えいただければ幸いです。

連絡先　岩手県立大学研究・地域連携室
〒020-0611　岩手県滝沢市巣子152-89　TEL 019-694-3330　FAX 019-694-3331

【関連する特許】特許第7053134号、特許第6961198号、特願2024-107285

3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに
10 人や国の不平等をなくそう